

京都外国語大学ラテンアメリカ研究所主催
第 21 回ラテンアメリカ研究講座

「南北アメリカ研究の課題と展望」

【第 1 日目】アメリカ合衆国の普遍的価値観とその受容をめぐって
【第 2 日目】南北アメリカのマイノリティ研究

日時：2021 年 12 月 11 日（土）／12 日（日）14:00—18:00

参加方法：Zoom によるオンライン形式

<講座案内>

21 世紀 20 年代の南北アメリカにおいて、地域を超えた地球規模の視座が求められている。かつては「新世界」と呼ばれた南北アメリカには、カリブ海諸国を含めて、35 カ国の独立国がある。このうち英語を公用語とするのは 14 カ国、スペイン語は 18 カ国である。米ソが対立する 20 世紀の冷戦期の最中に、ラテンアメリカ地域では、世界初の非核兵器地帯条約であるトラテロルコ条約（1968 年 4 月発効）が締結されたことをここで改めて確認しておきたい。その後、冷戦構造が終焉し、21 世紀に入り、新興の中国やインドを加えた新しいグローバリゼーションの時代を迎えている。

20 世紀のように、資本主義か社会主義かというイデオロギーの対立ではなく、また米国 1 強の選択でもない。とりわけ 2001 年の 9・11 テロ以後は、政治や外交に限らず、経済、環境、教育等の諸問題に対する多様かつ地球規模での対応が求められている。

本講座では南北アメリカ研究の課題と展望について、京都外国語大学・短期大学の専任教員が中心となって、イデオロギーや研究分野の枠を超えて議論を行う。積極的かつ自由な気分でご参加いただきたい。

<趣旨>

第一次世界大戦後、冷戦終了時までには、一般に、「アメリカの世紀」とも言われる。それはアメリカ合衆国の世界的覇権の達成のもと、最大で普遍的な同国の価値観である「民主主義」を西側世界へ浸透させることに概ね成功したことによる。特に第二次世界大戦後、イギリスにかわりアメリカ合衆国は世界をリードする超大国に成長し、アメリカ文明のさまざまな価値観の普及を目指した。これらの価値観は、アメリカ合衆国の外交、開発、教育、あるいは人権等に具現化されている。そしてラテンアメリカの歴史においても、アメリカ的価値観の普及の流れは例外ではない。

しかし、「南」のアメリカにおける、この受容に関しては、必ずしも一様ではない。歴史上、南北の関係が対等ではなく、あたかも主従関係の上に成立してきたことから生まれた

「南」の歴史観には、概してアメリカ合衆国に対する強い反感や拒否反応がみられる。さらに、アメリカ合衆国の普遍的価値観から、米連邦政府自体が逸脱しているのではないかという疑念すら「南」が持ち続けていることが、問題をより複雑化させている。

本パネル・ディスカッションの1日目では、アメリカ合衆国の普遍的な価値観とその受容と浸透を大枠のテーマとして、それぞれの専門領域から、3名のアメリカ研究者に話題提供をしていただく。その後、ラテンアメリカ研究者2名が、「反米」思想とその政治的展開について事例をあげて論じ、比較検討することにした。最後に登壇者を中心に議論をさらに深めたい。

2日目は、南北アメリカのマイノリティの問題をテーマとして、アメリカ研究者1名とラテンアメリカ研究者3名が同地域の多様な民族・人種間の差別や包摂の実情を示し、望ましい未来に向けての議論を進める。1日目につなげて、2日目のマイノリティについても活発な意見の交換を期待したい。

<プログラム>

【第1日目 (12/11)】 アメリカ合衆国の普遍的価値観とその受容をめぐって

13:50 開会の辞

14:00-14:30 「南北戦争期の帝的世界戦略—大陸横断鉄道の構想と覇権奪取の挫折」
布施 将夫 (京都外国語短期大学准教授)

14:30-15:00 「1960年代の『近代化』論から見る米国の『普遍的』価値観」
藤岡 真樹 (京都外国語大学非常勤講師・京都大学人文学連携研究者)

15:10-15:40 「アメリカの冷戦戦略とCIAの秘密工作活動—グアテマラ・アルベンス政権
打倒工作への道程」
大野 直樹 (京都外国語大学准教授)

15:40-16:10 「メキシコから見た米墨戦争とマニフェスト・デスティニー」
牛島 万 (京都外国語大学准教授)

16:20-16:50 「20世紀親米ブラジル大統領の理念と政策—空間のナショナリズムと米国」
住田 育法 (京都外国語短期大学教授)

16:55-17:35 討論・質疑応答 (司会：牛島万)

【第2日目 (12/12)】 南北アメリカのマイノリティ研究

14:00-14:30 「アフリカ系アメリカ音楽文化の意味実践—モラルと差異の間で」
辰巳 遼 (京都外国語大学非常勤講師)

14:30-15:00 「ブラジルのシリア・レバノン人移民」
伊藤 秋仁 (京都外国語大学教授)

15:15-15:45 「ブラジルにおける先住民学校教育のための新たな試み」
モイゼス・カルヴァーリョ (京都外国語大学教授)

15:45-16:15 「アフロ・ラテンアメリカ文化とブラジル社会の包摂」
住田 育法 (京都外国語短期大学教授)

16:30-17:15 討論・質疑応答 (司会：住田育法)

17:15 閉会の辞